

事務事業名	やすらぎ花広場整備事業	整理番号	32205-020
所 管	都市計画課 公園緑地スタッフ		

**事務事業の位置付け**

期間	平成 13年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 3-2 ゆとりと潤いのある市街地整備の推進 政 策 3-2-2 公園・緑地の整備	関連政策 3-2-1 居住環境の整備・向上 3-2-3 良好な景観・街並みの整備	

**事務事業の内容**

目的 (何のために)	花と緑のあふれる安らぎと潤いの街づくり。
対 象 (誰・何を)	市民・市内全域
手 段 (どのようなやり方で)	空地となっている土地を利用し「花壇」・「緑地帯」として整備する。
成 果 (どのような状態にしたいか)	市民に「安らぎと快適な生活環境」を提供するとともに、街に表情を作る。市民に緑に親しむ心、郷土愛を芽生えさせたい。
事務事業の背景・住民の意向	市街地にあつて景観上好ましくなく、整備されていない空き地を積極的に活用する。
見直し改善の経過	

**事務事業の実績・投入コスト**

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)																
平成16年度	やすらぎ花広場植栽(新橋)	<p>投入コスト(千円)</p> <p>■直接経費(上段) □人件費(下段)</p> <table border="1"> <caption>投入コスト(千円)の推定値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(千円)</th> <th>人件費(千円)</th> <th>合計(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16年度</td> <td>1,400</td> <td>100</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>500</td> <td>100</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(千円)	人件費(千円)	合計(千円)	16年度	1,400	100	1,500	17年度	0	0	0	18年度	500	100	600
年度	直接経費(千円)		人件費(千円)	合計(千円)														
16年度	1,400		100	1,500														
17年度	0	0	0															
18年度	500	100	600															
平成17年度																		
平成18年度	やすらぎ花広場植栽(二の岡)																	

**評価指標**

評価指標	H16	H17	H18	H22目標
花苗植栽数(株)	100	100	100	300
花広場面積(m <sup>2</sup> )	100	100	100	300
m <sup>2</sup> 当たりコスト(円)	13	10	10	10

**事務事業の評価**

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント		今後の方向性												
<table border="1"> <tr> <td>観点別評価</td> <td>必要性</td> <td rowspan="3">都市化の進む中で、今後緑地の必要性が一層求められている。当初計画どおり実施されており、成果を期待できる。</td> <td rowspan="3">今後の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有効性</td> </tr> <tr> <td></td> <td>効率性</td> </tr> <tr> <td>一次評価</td> <td>A</td> <td></td> <td>継続</td> </tr> </table>	観点別評価	必要性	都市化の進む中で、今後緑地の必要性が一層求められている。当初計画どおり実施されており、成果を期待できる。	今後の方向性		有効性		効率性	一次評価	A		継続	都市化の進む中で、今後緑地の必要性が一層求められている。当初計画どおり実施されており、成果を期待できる。		今後の方向性
観点別評価	必要性	都市化の進む中で、今後緑地の必要性が一層求められている。当初計画どおり実施されており、成果を期待できる。			今後の方向性										
	有効性														
	効率性														
一次評価	A		継続												
二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント		今後の方向性												
二次評価	C	事業実施方法の再検討を要す。	手段改善												

**改革プラン**

平成19年度からの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地内にある私有地などの空地の利用を図っていききたい。</li> <li>地元へ管理委託をお願いしていききたい。</li> </ul>
平成20年度以降の対応	市街地内にある私有地などの空地の利用を図り、地域での維持管理を推進したい。
改革により予想される成果	市街地が花と緑あふれることにより、憩いと安らぎを感じることができる。また、地域の連帯感や郷土愛が芽生える。